

水稲「風さやか」栽培指針(平成30年版)

長野農業改良普及センター、JAグリーン長野

	11月		3月		4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月		
	上旬	下旬	上旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
作業体系	堆肥施用 耕起		塩水選 種子消毒 浸種 催芽 播種			育苗管理(30日) 基肥施用 入水 荒代 植代			初・中・期除草剤散布 雑草発生状況により 中期及び後期剤散布			生育診断 追肥 籾の充実			出穂期観察			落水 収穫判定			収穫				
水管理						入水 田植え			浅水 中干			間断灌水 深水			間断灌水			落水							
栽培管理	<p>「風さやか」の特徴：長野県農業試験場育成。 コシヒカリに比べ、出穂が4日、成熟期で7日程度遅い。倒伏・いもち病に強く、収量性が良い。過度な籾数増加をもたらす施肥は登熟歩合の低下や未熟粒の増加及び食味の低下につながるのを避ける。</p> <p>～良食味・高品質米を目指して～</p> <p>1 基肥施用 多肥にすると、無効分げつ、くず米、未熟粒が増加する傾向にある。 <u>過剰な施肥はしない。</u>(食用うるち米と同等程度とする)</p> <p>肥料名：田んぼの力(土づくり肥料) 100Kg/10a ：グリーン長野オリジナル水稲一発肥料 50kg/10a (N6kg/10a程度)</p> <p>☆堆肥を施用する場合、春施用すると、ガス湧きによる生育阻害が生じるので、<u>基本的に前年の秋に施用し</u>、耕起、分解を促進する。 ☆その他の有機物を施用する場合は普及センター・JAへ相談する。</p> <p>2 播種・育苗管理 ・一般の品種と同様に行う。</p> <p>3 田植え ・時期：5月下旬 遅れると適正穂数確保できないので注意する。 ・適正標高：600m以下 ・一般栽培に準じ、60株/坪植え(条間30cm、株間18cm)、3～4本植えとする。極端な疎植(50株未満)は避ける。 (条間30cm、株間22cm以上で50株/㎡未満になります)</p> <p>4 病虫害防除 (1) 苗箱施薬：殺菌殺虫剤を必ず処理する (2) いもち病防除：葉いもちが見られた場合は予防剤を、穂いもちの発生の恐れがある場合は治療剤を散布する。 (3) カメムシ防除：慣行どおりに防除を行うこと。</p> <p>5 水管理 ・田植え後ガス湧きが多い場合は、軽く干して酸素供給を行う。 ・幼穂形成期以降、低温時は深水管理を行う。</p> <p>6 中干し 無効分げつや遅れ穂の増加を防ぐため、有効茎数(2枚以上の葉をもつ分げつ)が23本程度になったら、中干しをかける(約10日)。</p> <p>7 追肥 ・最高分げつ期(7月上中旬)に生育状況を観察し、施肥時期と量を検討する。 ・基本施肥量と時期 穂肥：水稲一発肥料を使用の場合、追肥は不要。</p> <p>8 収穫適期の判定 ・積算気温 1100℃前後とする。 ・帯緑色籾歩合 10%前後で収穫する ・刈取時期、搬入についてはライスセンターへ問い合わせること。</p> <p>【目標生育モデル】</p> $60 \text{ 株/坪 (約18本/㎡)} \times 1 \text{ 株穂数 } 25 \text{ 本以下} \Rightarrow 1 \text{ ㎡穂数 } 400 \text{ 本} \times 1 \text{ 穂籾数 } 93 \text{ 粒}$ $\Rightarrow \text{目標 } 1 \text{ ㎡粒数 } \text{約 } 37,000 \text{ 粒} \times \text{登熟歩合 } 82\% \times \text{千粒重 } 22.6\text{g} \Rightarrow \text{目標単収(1.85mm)} 686\text{kg/10a}$																								